

# 光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」～



組織・地域を担う



**若者**たち

～ハウス周りの除雪をする所尚玄さん～  
(紹介は8ページ)

2022.2  
No.  
578

# 団結の力、楽しさの輪を広げる活動を目指して

JAとくろ女性部 第66回通常総会

JAとくろ女性部（麻島郁子部長）は1月20日、JA会議室で「第66回通常総会」を開き、部員45人が出席しました。

開会に先立ち麻島部長は「今年度もコロナ禍により大きな研修が出来ない日々が続きましたが、その中でも皆さん



議案審議をする部員の皆さん



開会の挨拶をする麻島部長

んにご協力頂いた特別養護老人ホームとくろへ寄贈する工ブロン作りは大変有意義なものであったと思います。施設のお年寄りや、職員の方々にも大変喜んで頂き、地域支援の役に立てたことは、私達にとっても大変喜ばしいことでした。おしゃべりしながらの工ブロン作りは、大変な中でも楽しい時間だったと思います。また12月に開催した手芸研修

会についても短時間ではありましたが、久しぶりに顔を合わせ、普段話すことのない地区の方のおしゃべりしながらの作業は、マスク越しではありますが、心も潤ってくる気がしました。きっと女性部の存在意義はそういうことだと私は思います。顔を合わせ

ておしゃべりするだけでも、皆が集まることで輪ができ、パワーアップし、何かを成し遂げる元氣、団結する力、楽しさ、いろんな力が湧いてくると思います。なのでコロナ禍が落ち着いたら、皆さんぜひ

会について短時間ではありましたが、久しぶりに顔を合わせ、普段話すことのない地区の方のおしゃべりしながらの作業は、マスク越しではありますが、心も潤ってくる気がしました。きっと女性部の存在意義はそういうことだと私は思います。顔を合わせ



今回作成したのほり旗とデザイン考案者の清尾さん

議案第1号令和3年度事業報告の承認に続き全ての議案が可決されました。また今回女性部活動をPRするためにのほり旗を作成、部員にデザイン案を公募し、その中から豊川地区の清尾和歌奈さんのデザインが採用されました。あわせて女性部員が作成した品を展示する作品展が行われ、サンドアートや手作り布マスクなど、様々な品が展示されました。作品を通じ部員同士の交流が行われました。

ひ女性部活動に参加してください」と挨拶を述べました。来賓には当JA川上和則組合長、北見市須藤勇一常呂自治区長、網走農業改良普及センター松浦準次長、北見市常呂総合支所産業課丸本哲之課長に出席していただき、温かい祝辞が述べられました。その後、議事進行にあたり議長に豊川地区の江田緑さんが選出され、議案審議に入りました。

ひ女性部活動に参加してください」と挨拶を述べました。来賓には当JA川上和則組合長、北見市須藤勇一常呂自治区長、網走農業改良普及センター松浦準次長、北見市常呂総合支所産業課丸本哲之課長に出席していただき、温かい祝辞が述べられました。その後、議事進行にあたり議長に豊川地区の江田緑さんが選出され、議案審議に入りました。



女性部員の皆さんが作成した作品が展示されました

# フレッシュユミセスの集いに29人参加

フレッシュユミセス部会

J Aとこころ女性部フレッシュユミセス部会（猪野間ありさ部会長）は1月24日、J A会議室で「令和4年度フレッシュユミセスの集い」を開き、部会員29人が出席しました。

開会に先立ち猪野間部会長は「今年もコロナ禍で様々な制限があり、思うように活動することができませんでしたが、J Aとこころ収穫菜では新しい試みとして常呂町産男爵芋を使った『イモドッグ』の販売を行い、フレッシュ部員研修会ではオンラインでの開催ということもあり、いつもより多くの皆さんに参加して頂き部員間の交流をはかることができました」と挨拶を述べ、



開会の挨拶をする猪野間部会長

べ、来賓の当J A女性部の麻部部長からも温かい祝辞が述べられました。

その後議案審議に入り、令和3年度活動報告及び令和4年度事業への取組みなどの議案が全会一致で可決されました。

今年も例年行っている宿泊付き懇親会は実施せず、総会後に予定していた研修会についても新型コロナウイルスの感染拡大状況をふまえ延期しました。



議案は慎重に審議されました



新役員の皆さん（左から林沙弥支部長、森澤滋子支部長、清井部会長、佐藤副部会長、小林愛子支部長）

また役員改選も行われ、新役員が次の通り選任されました。（敬称略）

- 部会長 清井 優奈（福山・日吉支部）
- 副部会長 佐藤 由美子（豊川支部）

## 手作りエプロンを寄贈

J Aとこころ女性部

J Aとこころ女性部（麻部部長）は12月20日、特別養護老人ホームとこころへ手作りのエプロンの寄贈を行いました。

このエプロンは「町内福祉施設の円滑な運営の手助けをしたい」と女性部員が協力して一から作成したもので、寄贈枚数は全部で50枚となり、当日は麻部部長、梅田陽子副部長、向修子副部長が施設を訪問し、同施設の武田美都子施設長へ手渡しました。

エプロンの寄贈に際し麻部部長は「部員皆で協力して作成しました。是非活用してください」と話しました。



武田施設長（右）にエプロンを手渡す女性部二役

## 牛やのかあちゃんの会 雑誌取材を受ける

酪農家の奥様方で組織する

団体、牛やのかあちゃんの会（那須美由紀代表）が北海道の暮らしを伝える雑誌「northern style s rou」の取材を受けました。今回はチーズ作りの様子が取り上げられ、その中でも記者の方が酪農家出身ということもあり「酪農家あるある」で盛り上がるなど終始リラックスしたにぎやかな取材となりました。

取材の中で那須さんは会の発足について触れ「こうして集まって楽しむ時間を大切にしたい」と話しました。



取材を受ける会員の皆さん

# 第9次農業振興計画策定検討委員会 開催



～次世代へつなごう！  
持続可能な地域農業・  
安心して暮らせる地域社会～

● 事務局の話に耳を傾ける出席者一同



● 開会の挨拶をする川上組会長

また組織活動の推進や次世代の地域農業を担う人材の育成では、コロナ禍で活動が停滞する中、「組織づくり・人づくり」に向けて集い、話し合う活動の大切さが確認され閉会となりました。

農畜産物の生産振興では、馬鈴薯の抵抗性品種や多収性品種への切替推進の検討や「にんにく」乾燥作業後の出荷体制の労力軽減について検討要望が出されました。

令和3年度は5か年計画の1年次目となり、各生産組織・営農集団長会・青年部・女性部・指導農業者の代表が出席し令和3年度事業を振り返り、課題・対策について協議されました。

JAところは12月22日、JA会議室で第9次農業振興計画策定検討委員会を開きました。

## 有害鳥獣対策協議会開催

JAところは12月24日、JA会議室で有害鳥獣対策協議会を開きました。

同協議会では、令和3年度の有害鳥獣捕獲等の実績報告及び各地区の被害状況を踏まえて令和4年度の被害対策の検討が行われました。

開催に際し、出席した馬木昇猟友会常呂支部長は「シカ被害は全道的に拡大してきている。また、道南ではクマの被害も出ている。本町でもクマの目撃情報や痕跡が確認されているので、注意してもらいたい」と話しました。



● 令和4年度の対策について検討を行いました

## 新規農薬の正しい知識を

～農薬講習会開催～

JAところは12月22日、JA会議室で令和4年度農薬講習会を開きました。コロナ禍により久しぶりの開催となりましたが34人の組合員が出席しました。

ホクレン北見支所生産資材課の川村友亮氏、クミアイ化学工業(株)の上田憲氏、北興化学工業(株)の栗原正樹氏、シンシエンタージャパン(株)の平野明則氏を講師に招き、主に防除ガイドに記載された新規農薬の特性や使用上の注意点などの説明が行われました。また組合員から新規農薬についての質問や農薬についての意見などが出され、実りのある農薬講習会となりました。



● 説明を受ける組合員一同

# 常呂町試験研究・調査成績報告会

J Aところは12月23日、J A会議室で常呂町試験研究・調査成績報告会を開き、網走農業改良普及センターの職員3人、J Aところ職員11人の計14人が出席しました。

今回の報告会では畑作10課題、園芸11課題について各試験担当者から報告がされました。

畑作では、「秋まき小麦の大豆間作調査試験」「馬鈴薯ジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種比較試験」などの結果報告がされました。秋まき小麦



● 報告会に参加した職員ら



● 活発な意見交換が行われました

の大豆間作試験では越冬前に十分な生育量を確保できれば、慣行並みの収量が期待できる結果でした。

また、馬鈴薯の品種比較試験では収量性などを確認しました。

園芸では「玉葱極早生品種SN-3被覆試験」などの結果報告がされました。被覆試験の試験結果、被覆をする際のコスト面を踏まえ、初期生育が遅れる傾向のある地域においては一定割合を被覆する事を推奨する結果となりました。

## 目指せ! 農作業 事故件数 ゼロ

令和3年 常呂町における  
農作業事故件数  
(主に機械への接触や落下、転倒)

➔ 19件

2月に入り、農作業が始まります。休み明けで気が緩んでいるときは怪我の危険性が高まります。

**「大丈夫だろう」**は事故のもと。安全確認をしっかりと行い、農作業事故防止に努めましょう!

機械の周りに人はいないかな...

疲れてきたから休憩するか...



# 長期勤続者表彰



## 【10年表彰】

古川 雄樹 佐藤 孝  
平成23年4月1日採用 平成23年5月1日採用

# 新年の仕事始めに先立ち

〈新年交礼会開催〉

JAところは1月7日、新年の仕事始めに先立ち新年交礼会を開きました。新年交礼会では長期勤続者や農協資格認定試験合格者への表彰状の授与式が行われました。



川上組合長の挨拶



長期勤続者表彰で表彰状を受け取る古川課長補佐



農協資格認定試験合格で表彰状を受け取る長内香央理主任



三本締めをもって閉会となりました



## 第11回理事会報告〈12月20日開催〉

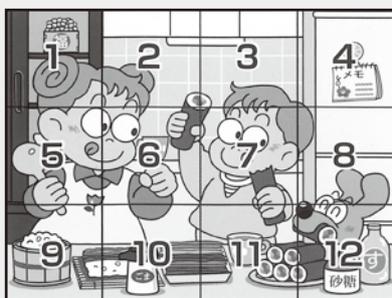
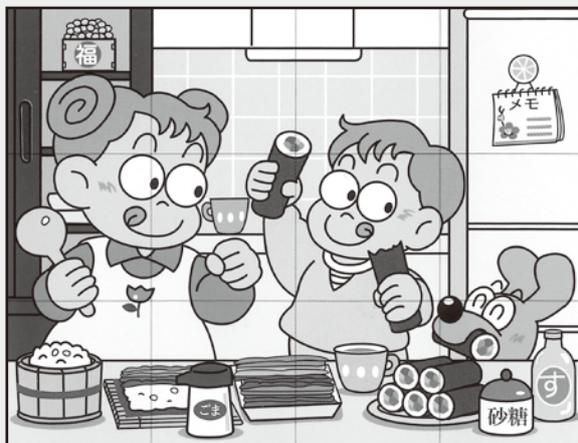
- ◆役員報酬審議会の委員の選任について
- ◆コンプライアンス規程および「コンプライアンスマニュアル」の一部改正について
- ◆文書管理規程の一部改正について
- ◆令和4年度内部監査計画の策定について
- ◆組合員の出資金譲渡について

### 〈報告事項〉

- ◆第3四半期監査報告について
- ◆令和2年度共計小麦の本精算について
- ◆令和2年産でん粉原料馬鈴薯の本精算について
- ◆令和2年産共計小豆の本精算について
- ◆内部監査報告について
- ◆12月1日～2日の暴風害による被害状況について
- ◆令和3年度経営所得安定対策数量払い交付金の交付について
- ◆令和3年度地区対話集会の開催報告について
- ◆職員の退職について
- ◆農業委員会開催結果について

## まちがい探し

右のイラストには左のイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探しましょう。



### 応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えの番号と広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。抽選で、お菓子詰め合わせをプレゼントします。

### 先月の当選者・解答

1月号のクロスワードパズルの答えは「フ・ク・ワ・ラ・イ」でした。抽選の結果、次の方が当選しました。おめでとうございます。

松井 珠美さん（岐阜）※（ ）内は地区名です。

## 読者の声

★寅年生まれの子供達の笑顔がステキでした!!  
（岐阜地区・松井 珠美さん）

★いつも楽しく見ています！毎月の表紙が誰なのかわくわくしています！  
（匿名希望）

# しあわせのおすそわけ

今月は令和2年2月27日にご結婚された豊川地区の田淵浩基さんご家族を紹介します。

HIROKI×YŪ×TSUGUMI



Tabuchi Family

## “気がつけば二人で過ごすことが当たり前になった”

お二人は元々小さい頃から親同士のつながりで顔見知りでしたが、優さんのお兄さんの結婚式で再会したのがきっかけに。その時の印象について聞くと、浩基さんより4歳年下の優さんは「いかにも先輩！って感じで（笑）でも笑顔がとても素敵の人だと思いました」と話してくれました。

当時、北見市内で保育士として働いていた優さん。北見市内のスケートリンクに通っていた浩基

さんがその帰りに優さんの下へ通い、ご飯を食べるなど一緒に過ごすことが当たり前となり自然とお付き合いに発展しました。「結婚するならただら付き合っても意味がない」と男らしい浩基さんのリードでそのまま結婚に至ったそうです。

昨年8月に生まれた亜実ちゃんも、撮影時にはここにことたくさん笑顔を見せてくれました！とても幸せそうな田淵家に幸せをおすそ分けして頂きました♡

## 田淵さんご夫婦に質問



婚姻届を提出するときの1枚♡

- 田淵家はどんな家族？  
仲が良く穏やかな家族
- 家族内ルールなどはありますか？  
ルールではないけれど、娘の洗濯物は浩基君に洗ってもらっています。
- 相手に感謝していることは？  
浩基さん：娘の面倒を見てくれてありがとう  
優さん：家を建ててくれてありがとう（3月完成予定♪）

## 編集後記

- 今年のお正月は天気も良く、絶好の初日のお出日でした。常呂町の高台から綺麗な初日の出を見ることが出来ました！☺
- 今年のお正月はゴールの駅を目指すゲームと、自分の島を開拓するゲームをしながら過ごしました。一緒に遊べる人を募集しています ♪📞 《営農企画課：広報担当》

## 組織地域を担う若者たち

今月の表紙は、岐阜地区の所尚玄さん(37)です。除雪作業を撮影させて頂きました。撮影後に抱負について聞くと、「園芸作物などを取り入れて、高収益化を目指していきたい」と力強く話してくださいました。お忙しい中、取材にご協力いただきありがとうございました。

## ハウスの周りの除雪をする所尚玄さん

